

最近のニセ警察詐欺の特徴について(令和7年11月末時点)

- 被害額は特殊詐欺全体の約7割を占める

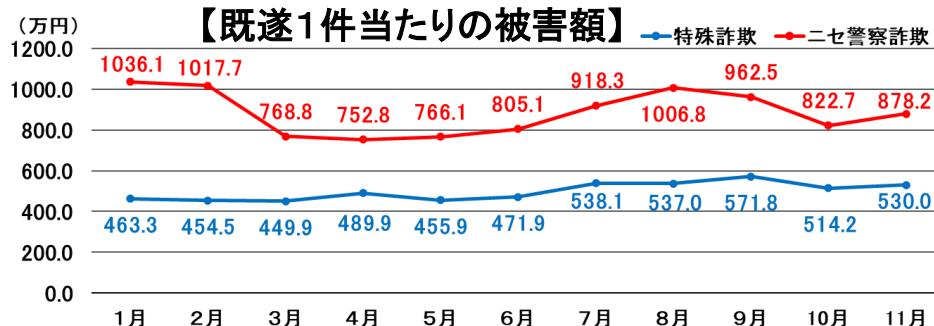
特殊詐欺 1,213.3億円

ニセ警察詐欺 831.9億円

- 既遂1件当たりの被害額(1~11月)が高額

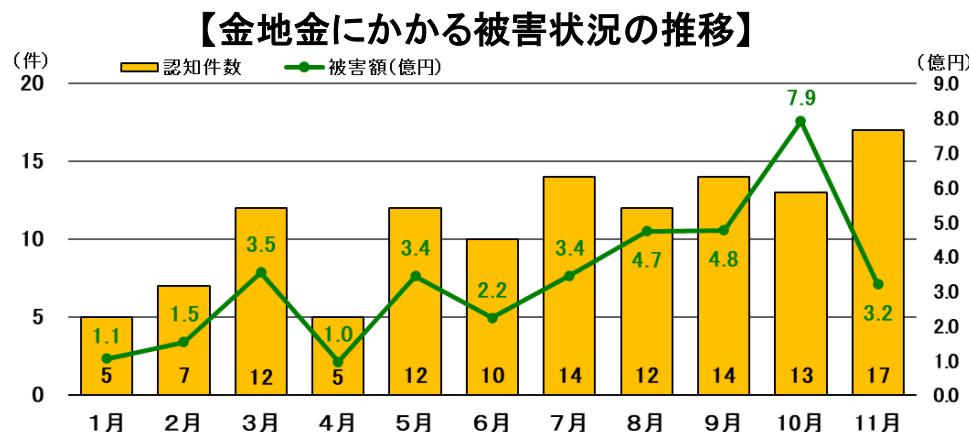
ニセ警察詐欺 871.8万円

(特殊詐欺全体499.1万円の約1.7倍)



金地金をだまし取る被害が増加傾向

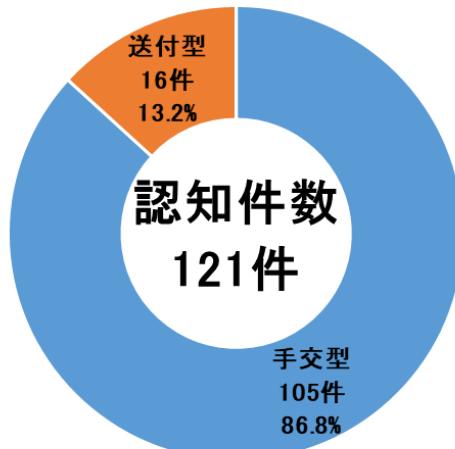
- 認知件数121件、被害額36.8億円
(32都道府県で被害を確認)
- 被害の9割以上がニセ警察詐欺による被害
- 既遂1件当たりの被害額は3,039.0万円と高額



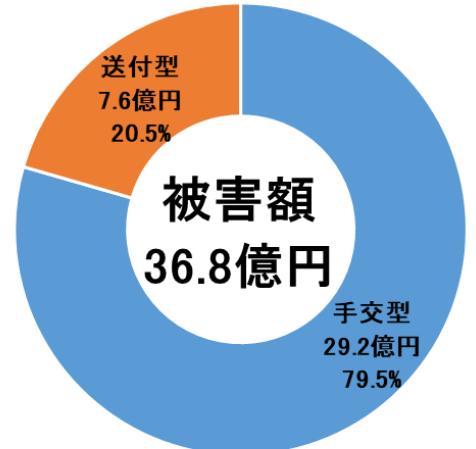
金地金の交付形態別の被害状況について

- 手交型が認知件数の約9割を占める
被害額の約8割を占める

【認知件数】



【被害額】



①「+」から始まる国際電話番号から電話をすることはありません。

警察は、②SNSで連絡したり、警察手帳や逮捕状の画像を送ることはありません。

③逮捕を免れることを理由に金銭の振込や出金を指示したり、金地金の購入を求めるとはありません。

⇒ 警察官を名乗る者から電話で捜査対象になっていると言わされた場合は詐欺を疑い、電話を切って警察相談専用電話(#9110)に御相談ください。